

第2学年国語科年間指導計画・評価規準付き（2学期）

単元13 おもちゃを作の作り方を教えてあげるお店をひらこう

月	単元と主な目標	時数	学習活動・学習内容	備考
9	<p>13. おもちゃの作り方を教えてあげるお店をひらこう。</p> <p>【読むこと】 説明の仕方の工夫を読み取ることができる。</p> <p>【書くこと】 読み取った工夫を参考にして説明文を書くことができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】 説明文を書く活動に意欲的に取り組むことができる。</p>	12	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教材文を読み、作者の説明文の書き方の工夫を読み取る。 2. 自分が紹介したいおもちゃを決めて、説明の仕方を考えた構成メモを書く。 3. おもちゃの作り方を説明する説明文を書く。 4. 説明文を交流する。 5. おもちゃを作って実際に説明する。 	<p>説明文の工夫とは、「作る順番に説明する。」「数値を入れる。」「挿絵を入れる。」などです。</p> <p>おもちゃは、教材のおもちゃ「山のぼり人形」や「ぶんぶんごま」など、材料が用意でき、2年生にも作れるようなものを作って下さい。</p> <p>作りたいおもちゃ別のグループを設定し、説明文を書くときの少人数指導もできます。</p> <p>1年生に説明するなど、作り方を知らない人に伝えることが前提になります。1年生との交流可能</p>

主に評価すること

読むこと	説明の仕方の工夫を読み取ることができる。	説明の仕方の工夫を読み取ることができない。
具体的な姿	<ul style="list-style-type: none"> ・説明する時の工夫された記述を読みとって、教材に線を引いたり、質問に答えたりしている。（順序性・数値・写真・絵・図 のようになどの指示語等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明する時の工夫についての記述を見つけられない。また、質問に答えられない。 ・見当違いの発言をしている。
書くこと	読み取った工夫を参考にして説明文を書くことができる。	読み取った工夫を参考にして説明文を書くことができない。
具体的な姿	<ul style="list-style-type: none"> ・読みとった工夫を参考にして説明文を書いている。 ・読んだときに、何を説明しているのかがわかる。 ・相手が読むことを意識した言葉の使い方書き方になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の内容がわからない。 ・読みとった工夫が使われていない。（数値が書いていない、作る順番に規則性がない。） ・相手が読むということを意識せず、書き方が雑。
関心・意欲・態度	説明文を書く活動に意欲的に取り組むことができる。	説明文を書く活動に意欲的に取り組むことができる。
具体的な姿	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文を書くことを楽しんでいる。 ・おもちゃ作りを楽しんでいる。 ・説明文の交流をしたときに、友だちの説明文のいいところを発言したり、記述したりして伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書かれた説明文が雑であれば、自動的に関心意欲態度面で - 材料です。 ・全ての学習活動中に意欲的な態度が見られない。

参考

おもちゃの作り方を説明する説明文を書く際には、4枚のワークシートを用意します。1時間で1枚書いていきます。「材料・作り方2枚・遊び方」という分け方が無難でしょう。作り方の部分でふくらませたり（道具や諸注意）減らしたり（設計図のような1枚もの）にすることは可能です。